

大桑 第44号 無所属 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！

栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員4年目
よろしくお願ひします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑まさたかの政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくります(しがらみをなくす)。

小児医療について

小児医療費助成制度の所得制限額(給与所得控除後の額)が今月(平成18年7月)の診療分から下記のように緩和されます(1歳～5歳の通院・入院分)。

	今まで	新基準
扶養者数1人	518万円	578万円
扶養者数2人	556万円	616万円
扶養者数3人	594万円	654万円(1人増すごとに38万円加算)

また、6歳～中学卒業までの入院助成も緩和されていますのでご確認下さい。
最後になりますが、今月から横浜市として初めて「小児救急相談」を始めます。
平日は18時～24時まで。土曜日は13時～24時まで。日曜祝日は9時～24時までになってます。電話番号は「045-201-1174」です。是非、ご利用下さい。

大桑新聞

第44号(7月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL&FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~m-okuwa/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

1973年7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型
横浜市立小山台小学校入学
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)
神奈川県立大岡高校卒業
神奈川大学法学部法律学科卒業
2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職
2003年4月 横浜市議員 初当選
若者政治家養成塾在籍(第1期生)
趣味 : サッカー、バスケットボール
家族 : 妻、子、マメ(猫)、グリ(犬)
(マメとグリはそれぞれの実家にいます)

ボランティア大募集！ TEL&FAX:045-892-5187

大桑と一緒に、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

5月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成18年度5月現在の政務調査費累計残高は **80,449円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	520円	新聞代	9,050円
大桑新聞印刷代等	130,040円	文具費等	997円
勉強会代等	10,870円	書籍代等	5,670円
通信費	40,387円	事務所費等	110,646円
交通費	55,630円	道路使用料(5月分)	4,000円

5月の支出合計は

367,810円です。

近況報告

6月23日(金)に第2回定例会(本会議)が終了しましたが、本会議閉会中も委員会や視察などがありますので(本会議開会中よりは栄区で仕事をする事が多くなると思いますが)7月も市役所に行くことになります。

さて話しは変わりますが、来年の4月頃におこなわれる統一地方選挙を目指してだと思いますが、最近、駅前(港南台・本郷台・大船)で大桑新聞を配っていると他の党の方とバッティングすることが多くなってきました。

これから統一地方選挙が終わるまでの間、駅前などが少しうるさくなってくると思いますが、どうかご理解頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

続・住民基本台帳ネットワークシステム

先月号で中田市長は横浜市も住民基本台帳ネットワークシステムに「参加する」と方向転換をしましたとお伝えしましたが、今回は横浜市が方向転換した理由を書きたいと思います。4年前、横浜市が住基ネットに不参加を決めたのは、個人情報保護に関する法整備の不備、住基ネット総体に対する国の責任が不明確、そして公務員の不正使用に対する罰則規定の不備などがあったためです。

それに対しこの4年間で「個人情報保護に関する法律」ができ、総務省は「制度を所管する立場等から責任を負う」とし、そして公務員に対する罰則として「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」が出来ました。

もちろん法律が出来たから絶対に安全かと問われれば、人が扱うものなので絶対に安全とは言えませんが、法律が出来たことにより住基ネットに参加する最低条件は揃ったと思っています。今後も国への要望も含め、安全性を高めるために様々な努力をしていきますので、ご理解頂ければと思っています。よろしくお願いいたします。

続・サミット誘致

大桑新聞35号・37号で、現在、中田市長(横浜市)は横浜市にサミットを誘致しようとしており、私はそれに対し警備上の理由などから反対している内容の記事を書かせて頂きましたが、今回はそのサミット誘致に動きがあったのでお知らせします。

今まで中田市長はサミットを横浜市単独で開催したいと言ってきましたが、ここにきて警備上の理由などから(警備が難しいことは当初から分かっていたのに)横浜市単独でサミットを開催することをあきらめ新潟と共催すると方向転換をしました。

私はこの方向転換(新潟との共催)をリスクを分散するという意味においては良い考え方だと思っています(サミットの分散開催は世界的な流れでもあるので)。

しかし、警備に自信がないから新潟と共催するというのであれば、横浜市にサミットを誘致するべきではないと思います。

ちなみに、今回の突然の方向転換には市議会からも不満や異論が多く出ています。